

## 薬局→医療機関 吸入指導実施報告書の運用説明

- 1.患者ID、患者氏名、処方医、処方箋発行日を記載する  
↓
- 2.総合評価の該当項目にチェックを入れる  
患者が初めて吸入薬を使われる場合は初回、2回目以降であれば継続にチェックを入れる  
吸入指導を行い、問題なければ問題なし、  
定期的なチェックが必要と考えられれば継続した吸入指導が必要にチェックを入れる  
使用が困難と考えられる場合は疑義照会を行う  
↓
- 3.報告理由の該当項目にチェックを入れる  
該当項目が複数あれば、該当項目にすべてチェックを入れる  
↓
- 4.確認項目は、製品ごとに全項目の○、△、×のいずれかにチェックを入れる  
用法用量の理解:1日の回数、1回の吸入数、頓用、追加吸入等  
デバイス操作方法:空打ち、事前のセット、残りの回数のチェック方法等  
吸入前の息吐き:苦しくない程度に  
適切な吸気流速:MDIはゆっくり深く、DPIは早く深く  
吸入後の息止め:5秒程度、苦しくない程度に  
うがい:嘔声・感染症予防のため、ガラガラ5秒、ブクブク5秒2回ずつ  
計6項目について評価を行う  
↓
- 5.問題点があれば、該当項目にチェックを入れる  
デバイス変更を提案する場合は推奨するデバイスの種類、その推奨理由を記載する  
副作用については該当する推定副作用にチェックを入れる  
該当項目が複数あれば、すべてにチェックを入れる  
↓
- 6.薬局名、薬剤師名、電話番号、FAX番号を記載して医療機関に提出する